

【卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

●看護学科の方針

看護学科に4年以上在籍し、卒業要件単位数125単位を取得したものに卒業が認定され、学士（看護学）の学位が与えられます。

これは看護師国家試験受験資格となります。チーム医療とヒューマンケアリングを創造的に実践できるよう

下記の能力を身につけた人材に学位を授与します。

●4つのディプロマ・ポリシー

①精度の高い専門的知識と専門技術

地域社会や医療現場等でのチームにおける看護の役割を理解し、自己の看護観をもち、実践に即した精度の高い知識と

専門技術を活用し、それぞれの立場を理解した上で看護力を発揮することができます。

②チーム医療で活躍するための幅広い知識と協調性・コミュニケーション能力

チーム医療を実践するために他職種に関する幅広い知識と患者・家族の想いを理解し、チーム医療の実践に欠かせない協調性・

コミュニケーション能力を駆使して、根拠や倫理観に基づいたケアを提供することができます。

③豊かな人間力

他者への思いやりの心を持ち、人によりそう豊かな感性、その想いを医療の力にかえることのできる人間力、

さらには生命と真摯に向き合う高い倫理観を育むことができます。

④主体的問題解決能力

看護が実践される現場に適応し、患者や家族あるいは地域住民といった人々のニーズを見極め、個別のニーズに応えられるよう主体的に

創造的に問題を解決することができます。

ディプロマポリシー  
(DP：学位授与方針)

区分	授業科目	配当年次	単位数		履修方法及び卒業要件	D P ①	D P ②	D P ③	D P ④	
			必修	選択						
教養科目群	科学的思考	基礎ゼミナール	1前	2			○	○	○	
		物理学	1後		2			○		
		生物学	1前	2				○		
		化学	1前		2			○		
		情報処理	1前	2				○		
		統計学	1前	2				○		
	人間理解と社会	心理学	1後		2	必修14単位+選択2単位以上			○	
		生命倫理学	1前		2				○	
		哲学	1後		2				○	
		社会福祉学	1前	2					○	
		日本国憲法	1後		2				○	
		東洋史概説	3前		2				○	
	語学	西洋史概説	3前		2				○	
		英語Ⅰ(初級)	1前	2				○		
		英語Ⅱ(中級)	1後	2				○		
		英会話Ⅰ	2前		2			○		
		医学英語	2後		2			○		
		基礎英語演習	2前		2			○		
学部共通科目群	応用英語演習	2後		2			○			
	保健医療	スポーツ健康科学演習	1後		2		必修5単位+選択4単位以上		○	
		健康科学(スポーツ社会学を含む)	1前		2				○	
		健康管理学Ⅰ	2前		2				○	
		健康管理学Ⅱ	2後		2				○	
		チーム医療とコミュニケーション	1後	2					○	○
		栄養学	1後	2					○	
		身体運動科学	2後		2				○	
		東洋医療概論	2後		2			○	○	
		統合医療概論	2後		2			○	○	
		IPW論	3前	1				○	○	○

## ディプロマポリシー (DP：学位授与方針)

【卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

●看護学科の方針

看護学科に4年以上在籍し、卒業要件単位数125単位を取得したものに卒業が認定され、学士（看護学）の学位が与えられます。  
これは看護師国家試験受験資格となります。チーム医療とヒューマンケアリングを創造的に実践できるよう  
下記の能力を身につけた人材に学位を授与します。

●4つのディプロマ・ポリシー

①精度の高い専門的知識と専門技術

地域社会や医療現場等でのチームにおける看護の役割を理解し、自己の看護観をもち、実践に即した精度の高い知識と  
専門技術を活用し、それぞれの立場を理解した上で看護力を発揮することができます。

②チーム医療で活躍するための幅広い知識と協調性・コミュニケーション能力

チーム医療を実践するために他職種に関する幅広い知識と患者・家族の想いを理解し、チーム医療の実践に欠かせない協調性・  
コミュニケーション能力を駆使して、根拠や倫理観に基づいたケアを提供することができます。

③豊かな人間力

他者への思いやりの心を持ち、人により豊かな感性、その想いを医療の力にかえることのできる人間力、  
さらには生命と真摯に向き合う高い倫理観を育むことができます。

④主体的問題解決能力

看護が実践される現場に適切に、患者や家族あるいは地域住民といった人々のニーズを見極め、個別のニーズに応えられるよう主体的に  
創造的に問題を解決することができます。

区分	授業科目	配当年次	単位数		履修方法及び卒業要件	D P ①	D P ②	D P ③	D P ④	
			必修	選択						
専門基礎分野	人体の構造と機能	形態機能学Ⅰ	1前	1	必修21単位＋選択2単位以上		○	○		
		形態機能学Ⅱ	1前	1			○	○		
		形態機能学Ⅲ	1後	1				○		
		形態機能学Ⅳ	1後	1				○		
		フィジカルアセスメント	2前	2			○	○		
		生化学	1後	2				○		
		発達心理学	1前			2		○	○	
	疾病の成り立ちと回復の促進	微生物学	1後	1			○	○		
		病理学	1後	1			○	○		
		臨床薬理学	2前	1			○	○		
		臨床病態学Ⅰ	2前	1			○	○		
		臨床病態学Ⅱ	2前	1			○	○		
		臨床病態学Ⅲ	2前	1			○	○		
		臨床病態学Ⅳ	2後	1			○	○		
	臨床病態学Ⅴ	2後	1			○	○			
	臨床心理学	1後		2				○		
	社会保険制度と健康支援	医療概論	1前	1			○	○		
		公衆衛生学	1後	2			○	○		
		看護関係法規	3前	2			○			
		保健統計学	2前			2	○			
	疫学	2後		2	○					

## ディプロマポリシー (DP：学位授与方針)

### 【卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

#### ●看護学科の方針

看護学科に4年以上在籍し、卒業要件単位数125単位を取得したものに卒業が認定され、学士（看護学）の学位が与えられます。  
これは看護師国家試験受験資格となります。チーム医療とヒューマンケアリングを創造的に実践できるよう  
下記の能力を身につけた人材に学位を授与します。

#### ●4つのディプロマ・ポリシー

##### ①精度の高い専門的知識と専門技術

地域社会や医療現場等でのチームにおける看護の役割を理解し、自己の看護観をもち、実践に即した精度の高い知識と  
専門技術を活用し、それぞれの立場を理解した上で看護力を発揮することができます。

##### ②チーム医療で活躍するための幅広い知識と協調性・コミュニケーション能力

チーム医療を実践するために他職種に関する幅広い知識と患者・家族の想いを理解し、チーム医療の実践に欠かせない協調性・  
コミュニケーション能力を駆使して、根拠や倫理観に基づいたケアを提供することができます。

##### ③豊かな人間力

他者への思いやりの心を持ち、人により豊かな感性、その想いを医療の力にかえることのできる人間力、  
さらには生命と真摯に向き合う高い倫理観を育むことができます。

##### ④主体的問題解決能力

看護が実践される現場に適応し、患者や家族あるいは地域住民といった人々のニーズを見極め、個別のニーズに応えられるよう主体的に  
創造的に問題を解決することができます。

区分	授業科目	配当年次	単位数		履修方法及び卒業要件	D P ①	D P ②	D P ③	D P ④
			必修	選択					
専門分野 I	基礎看護学	看護学概論	1前	1	必修 15単位	○			
		看護理論	1後	2		○			
		生活援助論 I	1前	2		○			○
		生活援助論 II	1後	2		○			○
		診療援助論 I	1後	2		○			○
		診療援助論 II	2前	2		○			○
		看護過程演習	2前	1		○			○
	臨地実習	基礎看護学実習 I	1前	1	3 必修 単位	○	○	○	○
		基礎看護学実習 II	2後	2		○	○	○	○

ディプロマポリシー  
(DP：学位授与方針)

【卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

●看護学科の方針

看護学科に4年以上在籍し、卒業要件単位数125単位を取得したものに卒業が認定され、学士（看護学）の学位が与えられます。  
これは看護師国家試験受験資格となります。チーム医療とヒューマンケアリングを創造的に実践できるよう  
下記の能力を身につけた人材に学位を授与します。

●4つのディプロマ・ポリシー

①精度の高い専門的知識と専門技術

地域社会や医療現場等でのチームにおける看護の役割を理解し、自己の看護観をもち、実践に即した精度の高い知識と  
専門技術を活用し、それぞれの立場を理解した上で看護力を発揮することができます。

②チーム医療で活躍するための幅広い知識と協調性・コミュニケーション能力

チーム医療を実践するために他職種に関する幅広い知識と患者・家族の想いを理解し、チーム医療の実践に欠かせない協調性・  
コミュニケーション能力を駆使して、根拠や倫理観に基づいたケアを提供することができます。

③豊かな人間力

他者への思いやりの心を持ち、人により豊かな感性、その想いを医療の力にかえることのできる人間力、  
さらには生命と真摯に向き合う高い倫理観を育むことができます。

④主体的問題解決能力

看護が実践される現場に適応し、患者や家族あるいは地域住民といった人々のニーズを見極め、個別のニーズに応えられるよう主体的に  
創造的に問題を解決することができます。

区分	授業科目	配当年次	単位数		履修方法及び卒業要件	D P ①	D P ②	D P ③	D P ④
			必修	選択					
学科専門科目群 専門分野Ⅱ	成人看護学	成人看護学概論	2前	2		○			
		成人看護援助論Ⅰ	2後	1		○			○
		成人看護援助論Ⅱ	2後	1		○			○
		成人看護援助論Ⅲ	3前	1		○			○
		成人看護援助論Ⅳ	3前	1		○			○
	老年看護学	老年看護学概論	2前	2		○			
		老年看護援助論Ⅰ	2後	1		○			○
		老年看護援助論Ⅱ	3前	1		○			○
	母性看護学	母性看護学概論	2前	2		○			
		母性看護援助論Ⅰ	2後	1		○			○
		母性看護援助論Ⅱ	3前	1		○			○
	小児看護学	小児看護学概論	2前	2		○			
		小児看護援助論Ⅰ	2後	1		○			○
		小児看護援助論Ⅱ	3前	1		○			○
	精神看護学	精神看護学概論	2前	2		○			
		精神看護援助論Ⅰ	2後	1		○			○
		精神看護援助論Ⅱ	3前	1		○			○
	臨地実習	成人看護学実習Ⅰ（急性）	3後	3		○	○	○	○
		成人看護学実習Ⅱ（慢性）	3後	3		○	○	○	○
		老年看護学実習Ⅰ	3後	3		○	○	○	○
		老年看護学実習Ⅱ	3後	1		○	○	○	○
		母性看護学実習	3後	2		○	○	○	○
		小児看護学実習	3後	2		○	○	○	○
		精神看護学実習	3後	2		○	○	○	○

必修38単位

ディプロマポリシー  
(DP：学位授与方針)

【卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

●看護学科の方針

看護学科に4年以上在籍し、卒業要件単位数125単位を取得したものに卒業が認定され、学士（看護学）の学位が与えられます。  
これは看護師国家試験受験資格となります。チーム医療とヒューマンケアリングを創造的に実践できるよう  
下記の能力を身につけた人材に学位を授与します。

●4つのディプロマ・ポリシー

①精度の高い専門的知識と専門技術

地域社会や医療現場等でのチームにおける看護の役割を理解し、自己の看護観をもち、実践に即した精度の高い知識と  
専門技術を活用し、それぞれの立場を理解した上で看護力を発揮することができます。

②チーム医療で活躍するための幅広い知識と協調性・コミュニケーション能力

チーム医療を実践するために他職種に関する幅広い知識と患者・家族の想いを理解し、チーム医療の実践に欠かせない協調性・  
コミュニケーション能力を駆使して、根拠や倫理観に基づいたケアを提供することができます。

③豊かな人間力

他者への思いやりの心を持ち、人によりそう豊かな感性、その想いを医療の力にかえることのできる人間力、  
さらには生命と真摯に向き合う高い倫理観を育むことができます。

④主体的問題解決能力

看護が実践される現場に適切に、患者や家族あるいは地域住民といった人々のニーズを見極め、個別のニーズに応えられるよう主体的に  
創造的に問題を解決することができます。

区分	授業科目	配当年次	単位数		履修方法及び卒業要件	D P ①	D P ②	D P ③	D P ④
			必修	選択					
総合分野	在宅看護論	在宅看護概論	2前	2		○			
		在宅看護援助論Ⅰ	2後	1		○	○		○
		在宅看護援助論Ⅱ	3前	1		○	○		○
		外来看護論	3前		1	○	○		
	看護の統合と実践Ⅰ	健康教育論	2後	2		○	○		
		家族看護学	3前	1		○	○		
		看護管理論	4後	1		○			
		災害・国際看護論	4後		1	○			
		養護概説	1後		2	○			
		学校保健	2前		2	○			
		健康相談活動論	2後		2	○	○		
		公衆衛生看護学	2前	2		○			
	公衆衛生看護学	公衆衛生看護学演習	3前		2	○			○
		公衆衛生看護活動論Ⅰ	2後		2	○			○
		公衆衛生看護活動論Ⅱ	2後		2	○			○
		公衆衛生看護活動論Ⅲ	3前		2	○			
		公衆衛生看護活動論Ⅳ	3前		2	○			
		公衆衛生看護管理論	3前		2	○			
		保健医療福祉行政論	3前		2	○			
		臨地実習	在宅看護論実習	4前	2		○	○	○
	公衆衛生看護学実習		4前		4	○	○	○	○
	主題実習Ⅰ		4前	2		○	○	○	○
	主題実習Ⅱ		4前		1	○	○	○	○
	卒業研究	看護研究	3前	1		○			○
		卒業研究	4通	2		○			○
	看護の統合と実践Ⅱ	臨床看護学セミナーⅠ	4前	2		○			
		臨床看護学セミナーⅡ	4後	2		○			
		公衆衛生看護セミナー	4後		1	○			
臨床看護技術セミナー		4後	1		○				
計(卒業要件)					99 (選択3単位を含む)				
卒業要件単位数					124				

ディプロマポリシー  
(DP：学位授与方針)

【卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

●理学療法学科の方針

理学療法学科に4年以上在籍し、卒業要件単位数を取得したものに卒業が認定され、学士（理学療法学）の学位が与えられます。これは理学療法士国家試験受験資格となります。チーム医療と科学性を持ちつつ人に優しい理学療法を創造的に実践できるよう下記の能力を身につけた人材に学位を授与します。

●4つのディプロマ・ポリシー

①精度の高い専門的知識と専門技術

地域社会や医療現場等でのチームにおける理学療法の役割を理解し、それぞれの専門領域において、実践に即した精度の高い知識と専門技術を発揮することができます。

②チーム医療で活躍するための幅広い知識と協調性・コミュニケーション能力

チーム医療を実践するために他職種に関する幅広い知識と患者・家族の想いを理解し、チーム医療の実践に欠かせない協調性・コミュニケーション能力を駆使して、根拠や倫理観に基づいた理学療法を提供することができます。

③豊かな人間力

他者への思いやりの心を持ち、人によりそう豊かな感性、その想いを医療の力にかえることのできる人間力、さらには生命と真摯に向き合う

高い倫理観を育むことができます。

④主体的問題解決能力

理学療法が実践される現場に適応し、患者や家族あるいは地域住民といった人々のニーズを見極め、個別のニーズに応えられるよう主体的に創造的に問題を解決することができます。

区分	授業科目	配当年次	単位数		履修方法及び卒業要件	D P ①	D P ②	D P ③	D P ④	
			必修	選択						
教養科目群	科学的思考	基礎ゼミナール	1前	2	必修14単位＋選択4単位以上		○	○	○	
		物理学	1後	2				○		
		生物学	1前	2				○		
		情報処理	1前	2				○		
	人間理解と社会	心理学	1前	2					○	
		生命倫理学	1後	2					○	
		哲学・宗教学	1後	2					○	
		社会福祉学	1前	2					○	
		日本国憲法	1後	2					○	
	語学	統計学	1後	2					○	
		英語Ⅰ（初級）	1前	2				○		
		英語Ⅱ（中級）	1後	2				○		
		医学英語Ⅰ	2前	2				○		
		医学英語Ⅱ	2後	2				○		
		英会話Ⅰ	2前	2				○		
学部共通科目群	保健医療	英会話Ⅱ	2後	2			○			
		スポーツ健康科学演習	1前	2				○		
		健康科学（スポーツ社会学を含む）	1前	2				○		
		東洋思想史	1前	2				○		
		生化学	2前	2				○		
		健康管理学Ⅰ	2前	2				○		
		健康管理学Ⅱ	2後	2				○		
		チーム医療とコミュニケーション	2前	2			○	○		
		栄養学	2後	2					○	
		身体運動科学	2後	2					○	
		漢方医学概論	2後	2					○	
統合医療概論	3前	2					○			

ディプロマポリシー  
(DP：学位授与方針)

【卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

●理学療法学科の方針

理学療法学科に4年以上在籍し、卒業要件単位数を取得したものに卒業が認定され、学士（理学療法学）の学位が与えられます。これは理学療法士国家試験受験資格となります。チーム医療と科学性を持ちつつ人に優しい理学療法を創造的に実践できるよう下記の能力を身につけた人材に学位を授与します。

●4つのディプロマ・ポリシー

①精度の高い専門的知識と専門技術

地域社会や医療現場等でのチームにおける理学療法士の役割を理解し、それぞれの専門領域において、実践に即した精度の高い知識と専門技術を発揮することができます。

②チーム医療で活躍するための幅広い知識と協調性・コミュニケーション能力

チーム医療を実践するために他職種に関する幅広い知識と患者・家族の想いを理解し、チーム医療の実践に欠かせない協調性・コミュニケーション能力を駆使して、根拠や倫理観に基づいた理学療法を提供することができます。

③豊かな人間力

他者への思いやりの心を持ち、人によりそう豊かな感性、その想いを医療の力にかえることのできる人間力、さらには生命と真摯に向き合う

高い倫理観を育むことができます。

④主体的問題解決能力

理学療法が実践される現場に適応し、患者や家族あるいは地域住民といった人々のニーズを見極め、個別のニーズに応えられるよう主体的に創造的に問題を解決することができます。

区分	授業科目	配当年次	単位数		履修方法及び卒業要件	D P ①	D P ②	D P ③	D P ④	
			必修	選択						
達 能 及 び 心 身 の 発 達	人体の構造演習(運動器)	1通	2		必修 1 4 単 位			○		
	人体の構造Ⅰ(循環・内臓)	1後	2					○		
	人体の構造Ⅱ(神経系)	1前	2					○		
	人体の構造実習	2後	1					○		
	人体の機能Ⅰ(動物性機能)	1前	2					○		
	人体の機能Ⅱ(植物性機能)	1後	2					○		
	基礎運動学	1後	2					○		
	臨床運動学	2前	1					○		
	疾 病 と 障 害 の 成 り 立 ち 及 び 回 復 過 程 の 促 進	リハビリテーション概論	1前	2		必修 1 7 単 位 + 選 択 4 単 位 以 上	○			
		公衆衛生学	1後		1		○			
		病理学	2前	2			○	○		
		内科学Ⅰ	2前	2			○	○		
		内科学Ⅱ	2後	2			○	○		
		救急処置法	3後	1			○	○		
脳神経外科学		2前	1		○		○			
整形外科学		2前	1		○		○			
小児科学(人間発達学)		2後	1		○		○			
精神医学		2前	1		○		○	○		
臨床心理学		2後	1		○		○	○		
リハビリテーション医学		3前	1		○		○			
老年医学		3後	1		○		○			
作業療法・芸術療法論		2前		2			○			
言語聴覚療法、摂食・嚥下障害学		3後		2			○			
基 礎 理 学 療 法 学		理学療法のための看護学・鍼灸学	3前	1			必修 6 単 位	○	○	○
	介護学概論・ボランティア活動論	2後		2		○				
	スポーツ医学	3前		2		○		○		
	テーピング技術論	2後		1		○				
	理学療法セミナーⅠ	4前	1			○				
理学療法セミナーⅡ	4後	1			○					
理学療法セミナーⅢ	4後	1			○					
医療関係法規論	3前	2			○					
理学療法触診法	3後	1			○					

ディプロマポリシー  
(DP：学位授与方針)

【卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

●理学療法学科の方針

理学療法学科に4年以上在籍し、卒業要件単位数を取得したものに卒業が認定され、学士（理学療法学）の学位が与えられます。これは理学療法士国家試験受験資格となります。チーム医療と科学性を持ちつつ人に優しい理学療法を創造的に実践できるよう下記の能力を身につけた人材に学位を授与します。

●4つのディプロマ・ポリシー

①精度の高い専門的知識と専門技術

地域社会や医療現場等でのチームにおける理学療法の役割を理解し、それぞれの専門領域において、実践に即した精度の高い知識と専門技術を発揮することができます。

②チーム医療で活躍するための幅広い知識と協調性・コミュニケーション能力

チーム医療を実践するために他職種に関する幅広い知識と患者・家族の想いを理解し、チーム医療の実践に欠かせない協調性・コミュニケーション能力を駆使して、根拠や倫理観に基づいた理学療法を提供することができます。

③豊かな人間力

他者への思いやりの心を持ち、人によりそう豊かな感性、その想いを医療の力にかえることのできる人間力、さらには生命と真摯に向き合う

高い倫理観を育むことができます。

④主体的問題解決能力

理学療法が実践される現場に適応し、患者や家族あるいは地域住民といった人々のニーズを見極め、個別のニーズに応えられるよう主体的に創造的に問題を解決することができます。

区分	授業科目	配当年次	単位数		履修方法及び卒業要件	D P ①	D P ②	D P ③	D P ④
			必修	選択					
専門科目	理学療法評価学	理学療法評価学総論	1後	1	必修 6 単 位	○			
		理学療法評価学各論	2前	2		○			
		臨床理学療法評価学Ⅰ	2後	1		○			
		臨床理学療法評価学Ⅱ	2後	1		○			
		臨床理学療法評価学Ⅲ	3前	1		○			
	理学療法治療学	基礎日常生活活動学	1後	2	必修 2 1 単 位	○			
		基礎運動療法学総論	2前	2		○			
		基礎運動療法学各論	2後	1		○			
		物理療法学	2前	2		○			
		運動器系理学療法学	3前	2		○			
		運動器系理学療法学技術論	3前	1		○			
		神経系理学療法学	3前	2		○			
		神経系理学療法学技術論	3前	1		○			
		内科系理学療法学	3前	2		○			
		内科系理学療法学技術論	3前	1		○			
		義肢装具学	2後	1		○			
		理学療法特論Ⅰ	3後	2		○			
		理学療法特論Ⅱ	4前	2		○			
	地域理学療法学	地域理学療法学	2後	1	必修 4 単 位	○			
		生活環境論	3前	1		○			
		発達障害理学療法学	3前	1		○			
		老年期理学療法学	3後	1		○			
	卒業研究	卒業研究Ⅰ	3通	2	必修 4 単 位	○			○
		卒業研究Ⅱ	4通	2		○			○
	臨床実習	臨床見学実習	2前	1	必修 2 0 単 位	○		○	○
		臨床評価実習	3通	3		○		○	○
		臨床総合実習Ⅰ	4集	8		○		○	○
臨床総合実習Ⅱ		4集	8	○			○	○	
卒業要件単位数					124				

ディプロマポリシー  
(DP：学位授与方針)

【卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

●作業療法学科の方針

作業療法学科に4年以上在籍し、卒業要件単位数を取得したものに卒業が認定され、学士（作業療法学）の学位が与えられます。これは作業療法士国家試験受験資格となります。チーム医療とクライアント中心の作業療法を創造的に実践できるよう下記の能力を身につけた人材に学位を授与します。

●4つのディプロマ・ポリシー

①精度の高い専門的知識と専門技術

保健・医療・福祉の現場でのチームにおける作業療法士の役割を理解し、それぞれの専門職の立場を理解した上で、作業療法実践に即した精度の高い知識と専門技術を活用することができます。

②チーム医療で活躍するための幅広い知識と協調性・コミュニケーション能力

チーム医療を実践するために他職種に関する幅広い知識と患者・家族の想いを理解し、チーム医療の実践に欠かせない協調性・コミュニケーション能力を駆使して、根拠や倫理観に基づいた作業療法を提供することができます。

③豊かな人間力

他者への思いやりの心を持ち、人によりそう豊かな感性、その想いを医療の力にかえることのできる人間力、さらには生命と真摯に向き合う高い倫理観を育むことができます。

④主体的問題解決能力

作業療法が実践される現場に適応し、患者や家族あるいは地域住民といった人々の作業ニーズを見極め、個別の作業ニーズに応えられるよう主体的に創造的に問題を解決することができます。

区分	授業科目	配次当年	単位数		履修方法及び卒業要件	D P ①	D P ②	D P ③	D P ④
			必修	選択					
教養科目群	科学的思考	基礎ゼミナール	1前	2			○	○	○
		物理学	1後		2			○	
		生物学	1前		2			○	
		情報処理	1前		2			○	
	人間理解と社会	心理学	1前	2				○	
		生命倫理学	1後	2				○	
		哲学・宗教学	1後		2			○	
		社会福祉学	1後	2				○	
		日本国憲法	1後		2			○	
		統計学	1後		2			○	
	語学	英語Ⅰ（初級）	1前	2			○		
		英語Ⅱ（中級）	1後	2			○		
		医学英語Ⅰ	2前		2		○		
		医学英語Ⅱ	2後		2		○		
英会話Ⅰ		2前		2		○			
英会話Ⅱ		2後		2		○			
学部共通科目群	保健医療	スポーツ健康科学演習	1前	2				○	
		健康科学（スポーツ社会学を含む）	1前		2			○	
		東洋思想史	1前		2			○	
		生化学	2前		2			○	
		健康管理学Ⅰ	2前		2			○	
		健康管理学Ⅱ	2後		2			○	
		チーム医療とコミュニケーション	2後	2			○	○	
		栄養学	2後		2			○	
		身体運動科学	2後		2			○	
		漢方医学概論	2後	2				○	
		統合医療概論	3前	2				○	○
学科専門科目群	発達	人体の構造演習(運動器)	1通	2			○	○	○
		人体の構造Ⅰ(循環・内臓)	1後	2			○	○	
		人体の構造Ⅱ(神経系)	1前	2			○	○	
		人体の構造実習	2後	1			○	○	○
		人体の機能Ⅰ(動物性機能)	1前	2			○	○	
		人体の機能Ⅱ(植物性機能)	1後	2			○	○	
		基礎運動学	1後	2				○	
		臨床運動学	2前	1				○	○
	疾病と障害の成り	リハビリテーション概論	1前	1			○	○	○
		公衆衛生学	1後		2			○	○
		病理学	2前	2				○	○
		内科学Ⅰ	2前	2				○	○
		内科学Ⅱ	2後	2				○	○
		救急処置法	3前		2			○	
（但し※印3科目の中から）	脳神経外科学	2前	2			○	○		
	整形外科学	2後	2			○	○		
	小児科学（人間発達学）	2後	2			○	○		
	精神医学	2前	2			○	○		
精神医学各論	2後	2			○	○			

ディプロマポリシー  
(DP：学位授与方針)

【卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

●作業療法学科の方針

作業療法学科に4年以上在籍し、卒業要件単位数を取得したものに卒業が認定され、学士（作業療法学）の学位が与えられます。これは作業療法士国家試験受験資格となります。チーム医療とクライアント中心の作業療法を創造的に実践できるよう下記の能力を身につけた人材に学位を授与します。

●4つのディプロマ・ポリシー

①精度の高い専門的知識と専門技術

保健・医療・福祉の現場でのチームにおける作業療法の役割を理解し、それぞれの専門職の立場を理解した上で、作業療法実践に即した精度の高い知識と専門技術を活用することができます。

②チーム医療で活躍するための幅広い知識と協調性・コミュニケーション能力

チーム医療を実践するために他職種に関する幅広い知識と患者・家族の想いを理解し、チーム医療の実践に欠かせない協調性・コミュニケーション能力を駆使して、根拠や倫理観に基づいた作業療法を提供することができます。

③豊かな人間力

他者への思いやりの心を持ち、人によりそう豊かな感性、その想いを医療の力にかえることのできる人間力、さらには生命と真摯に向き合う高い倫理観を育むことができます。

④主体的問題解決能力

作業療法が実践される現場に適応し、患者や家族あるいは地域住民といった人々の作業ニーズを見極め、個別の作業ニーズに応えられるよう主体的に創造的に問題を解決することができます。

区分	授業科目	配次当年	単位数		履修方法及び卒業要件	D P ①	D P ②	D P ③	D P ④
			必修	選択					
立ち及び回復過程の促進	臨床心理学	2後	2		単 位 + 選 択 4 単 位 以 上 の 選 択 必 修 以 上		○	○	
	老年医学	3前	1				○		
	リハビリテーション医学	3前	1			○	○	○	
	医療関係法規論	2前		2		○			
	理学療法概論	2前		1		○	○		
	芸術療法論	2前		1		○	○		
	言語聴覚療法、摂食・嚥下障害学	3後		2		○	○		
	介護学概論・ボランティア活動論	2後		2		○	○	○	
	スポーツ医学	2前		2			○		
	薬方医学各論 ※	3前		2			○		
	東洋医学概論Ⅰ ※	3後		1			○		
	東洋医学概論Ⅱ ※	3後		1			○		
	IPW論	3後	1				○	○	○

ディプロマポリシー  
(DP：学位授与方針)

【卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】  
 ●作業療法学科の方針  
 作業療法学科に4年以上在籍し、卒業要件単位数を取得したものに卒業が認定され、学士（作業療法学）の学位が与えられます。これは作業療法士国家試験受験資格となります。チーム医療とクライアント中心の作業療法を創造的に実践できるよう下記の能力を身につけた人材に学位を授与します。  
 ●4つのディプロマ・ポリシー  
 ①精度の高い専門的知識と専門技術  
 保健・医療・福祉の現場でのチームにおける作業療法の役割を理解し、それぞれの専門職の立場を理解した上で、作業療法実践に即した精度の高い知識と専門技術を活用することができます。  
 ②チーム医療で活躍するための幅広い知識と協調性・コミュニケーション能力  
 チーム医療を実践するために他職種に関する幅広い知識と患者・家族の想いを理解し、チーム医療の実践に欠かせない協調性・コミュニケーション能力を駆使して、根拠や倫理観に基づいた作業療法を提供することができます。  
 ③豊かな人間力  
 他者への思いやりの心を持ち、人によりそう豊かな感性、その想いを医療の力にかえることのできる人間力、さらには生命と真摯に向き合う高い倫理観を育むことができます。  
 ④主体的問題解決能力  
 作業療法が実践される現場に適応し、患者や家族あるいは地域住民といった人々の作業ニーズを見極め、個別の作業ニーズに応えられるよう主体的に創造的に問題を解決することができます。

区分	授業科目	配次当年	単位数		履修方法及び卒業要件	D	D	D	D		
			必修	選択		P ①	P ②	P ③	P ④		
学 科 専 門 科 目	基 礎 作 業 療 法 学	基礎作業学	1前	2		必修6単位	○			○	
		作業科学入門	1前	2			○	○			
		作業療法概論	1後	2			○				
	作 業 療 法 評 価 学	作業療法評価学総論	1後	2		必修7単位	○				
		身体障害作業療法評価学	2前	2			○			○	
		精神障害作業療法評価学	2後	1			○			○	
		発達障害作業療法評価学	2後	1			○			○	
		高次脳機能障害作業療法評価学	2前	1			○			○	
	作 業 療 法 治 療 学	日常生活活動学	1後	2		必修19単位+ 選択1単位	○				
		身体障害作業療法治療学総論	3前	2			○				
		精神障害作業療法治療学総論	3前	2			○				
		老年期障害作業療法治療学総論	3前	2			○				
		発達障害作業療法治療学総論	3前	2			○				
		身体障害作業療法治療学各論	3後	2			○				
		精神障害作業療法治療学各論	3後	2			○				
		老年期障害作業療法治療学各論	3後	1			○				
		発達障害作業療法治療学各論	3後	1			○				
		義肢装具学	2後	1			○				○
		作業療法特論Ⅰ	4後	1			○				○
		作業療法特論Ⅱ	4後	1			○				○
身体障害作業療法治療学演習		3後		1	○					○	
精神障害作業療法治療学演習		3後		1	○					○	
老年期障害作業療法治療学演習	3後		1	○				○			
発達障害作業療法治療学演習	3後		1	○				○			
学 科 専 門 科 目	地 域 作 業 療 法 学	地域作業療法学	3前	2		4単位 必修	○	○			
		生活環境論	3前	1			○			○	
		障害者地域生活支援論	3後	1			○	○			
	卒 業 研 究	卒業研究Ⅰ	3通	2		必修2単位+ 選択2単位+	○			○	
		卒業研究Ⅱ（身体障害）	4通		2		○			○	
		卒業研究Ⅱ（精神障害）	4通		2		○			○	
		卒業研究Ⅱ（老年期障害・地域）	4通		2		○			○	
		卒業研究Ⅱ（発達障害）	4通		2		○			○	
	臨 床 実 習	臨地見学実習	1前	1		必修23単位	○	○	○	○	
		臨床検査実習	2後	2			○	○	○	○	
臨床評価実習		3通	4		○		○	○	○		
臨床総合実習		4前	16		○		○	○	○		
卒業要件単位数					126						

ディプロマポリシー  
(DP：学位授与方針)

【卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

●臨床検査学科の方針

臨床検査学科は、幅広い教養を身に付け、臨床検査学に関する高い専門知識や技術を有する卒業生を輩出することを目指します。臨床検査学科に4年以上在籍し、卒業要件単位数を取得したものに卒業が認定され、学士（臨床検査学）の学位が与えられます。これは臨床検査技師国家試験受験資格となります。生命の尊さを深く認識し、医療人として高い倫理感と強い責任感を有し、誠実に臨床検査を実践することができるよう下記の能力を身につけた学生に、学位（臨床検査学）を授与します。

●4つのディプロマ・ポリシー

①精度の高い専門的知識と専門技術

臨床検査技師の専門性および役割を理解し、チーム医療の一員としての自覚を有し、臨床検査の専門的知識・専門技術を活用することで、

②チーム医療で活躍するための幅広い知識と協調性・コミュニケーション能力

チーム医療を実践するために、臨床検査の専門知識のみならず他職種に関する幅広い知識を得ることができ、さらにチーム医療の実践に欠かせない協調性・コミュニケーション能力が向上します。

③豊かな人間力

他者への思いやりの心を持ち、人によりそう豊かな感性、その想いを医療の力に変えることができる人間力、さらには生命と真摯に向き合う

④主体的問題解決能力

わからないこと・問題点を的確に把握し、それに対する探究心を持って積極的に情報収集や分析ができ、自ら解決することができるようになります。

区分	授業科目	配当年次	単位数		履修方法及び卒業要件	D P ①	D P ②	D P ③	D P ④
			必修	選択					
教養科目群	科学的思考	基礎ゼミナール	1前	2	必修14単位+選択2単位以上		○	○	○
		物理学	1後	2				○	
		生物学	1前	2				○	
		情報処理	1前	2				○	
	人間理解と社会	心理学	1前	2				○	
		生命倫理学	1後	2				○	
		哲学・宗教学	1後	2				○	
		社会福祉学	1後	2				○	
	語学	日本語憲法	1後	2				○	
		統計学	1後	2				○	
		英語Ⅰ（初級）	1前	2				○	
		英語Ⅱ（中級）	1後	2				○	
		医学英語Ⅰ	2前	2				○	
		医学英語Ⅱ	2後	2				○	
学部共通科目群	保健医療	英会話Ⅰ	2前	2			○		
		英会話Ⅱ	2後	2			○		
		スポーツ健康科学演習	1前	2				○	
		健康科学（スポーツ社会学を含む）	1前	2				○	
		東洋思想史	1前	2				○	
		生化学	1前	2				○	
		健康管理学Ⅰ	2前	2				○	
		健康管理学Ⅱ	2後	2				○	
		チーム医療とコミュニケーション	2後	2			○		
		栄養学	2後	2				○	
学科専門	人体の構造と機能	身体運動科学	2後	2			○		
		漢方医学概論	2後	2			○		
		統合医療概論	3前	2				○	
		人体の構造Ⅰ	1前	2			○		
		人体の構造Ⅱ	1後	2			○		
		人体の構造実習	1後	1			○	○	
		人体の機能Ⅰ	1前	2			○		
		人体の機能Ⅱ	1後	2			○		
		生化学各論	1後	2			○		
		生化学実習	2前	1			○	○	
		分析化学	1後	2			○		
救急災害医学	小児医学	2前	2			○	○		
	老年医学	2前	2			○	○		
	救急災害医学	2前	2			○	○		

ディプロマポリシー  
(DP：学位授与方針)

【卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

●臨床検査学科の方針

臨床検査学科は、幅広い教養を身に付け、臨床検査学に関する高い専門知識や技術を有する卒業生を輩出することを目指します。臨床検査学科に4年以上在籍し、卒業要件単位数を取得したものに卒業が認定され、学士（臨床検査学）の学位が与えられます。これは臨床検査技師国家試験受験資格となります。生命の尊さを深く認識し、医療人として高い倫理感と強い責任感を有し、誠実に臨床検査を実践することができるよう下記の能力を身につけた学生に、学位（臨床検査学）を授与します。

●4つのディプロマ・ポリシー

①精度の高い専門的知識と専門技術

臨床検査技師の専門性および役割を理解し、チーム医療の一員としての自覚を有し、臨床検査の専門的知識・専門技術を活用することで、

②チーム医療で活躍するための幅広い知識と協調性・コミュニケーション能力

チーム医療を実践するために、臨床検査の専門知識のみならず他職種に関する幅広い知識を得ることができ、さらにチーム医療の実践に欠かせない協調性・コミュニケーション能力が向上します。

③豊かな人間力

他者への思いやりの心を持ち、人によりそう豊かな感性、その想いを医療の力に変えることができる人間力、さらには生命と真摯に向き合う

④主体的問題解決能力

わからないこと・問題点を的確に把握し、それに対する探究心を持って積極的に情報収集や分析ができ、自ら解決することができるようになります。

区分	授業科目	配当年次	単位数		履修方法及び卒業要件	D P ①	D P ②	D P ③	D P ④
			必修	選択					
門 科 目 群	基礎科目	薬理学	2後	2	+ 選 択 2 単 位 以 上		○	○	
		リハビリテーション概論	3前	2			○	○	
	その 疾 病 と の 関 連	臨床検査学総論	1前	2		○			
		検査技術科学序論	1後	2		○			
		病理学	2前	2		○	○	○	
		と 医 学 検 査	医学概論	1前		2		○	○
	公衆衛生学		1前	2				○	
	IPW論		3前	1		○	○	○	○
	工 学	医用工学概論	2前	2		○			
		医用工学実習	2前	1		○			○

ディプロマポリシー  
(DP：学位授与方針)

【卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

●臨床検査学科の方針

臨床検査学科は、幅広い教養を身に付け、臨床検査学に関する高い専門知識や技術を有する卒業生を輩出することを目指します。臨床検査学科に4年以上在籍し、卒業要件単位数を取得したものに卒業が認定され、学士（臨床検査学）の学位が与えられます。これは臨床検査技師国家試験受験資格となります。生命の尊さを深く認識し、医療人として高い倫理感と強い責任感を有し、誠実に臨床検査を実践することができるよう下記の能力を身につけた学生に、学位（臨床検査学）を授与します。

●4つのディプロマ・ポリシー

①精度の高い専門的知識と専門技術

臨床検査技師の専門性および役割を理解し、チーム医療の一員としての自覚を有し、臨床検査の専門的知識・専門技術を活用することで、

②チーム医療で活躍するための幅広い知識と協調性・コミュニケーション能力

チーム医療を実践するために、臨床検査の専門知識のみならず他職種に関する幅広い知識を得ることができ、さらにチーム医療の実践に欠かせない協調性・コミュニケーション能力が向上します。

③豊かな人間力

他者への思いやりの心を持ち、人によりそう豊かな感性、その想いを医療の力に変えることができる人間力、さらには生命と真摯に向き合う

④主体的問題解決能力

わからないこと・問題点を的確に把握し、それに対する探究心を持って積極的に情報収集や分析ができ、自ら解決することができるようになります。

区分	授業科目	配当年次	単位数		履修方法及び卒業要件	D P ①	D P ②	D P ③	D P ④
			必修	選択					
臨床病	臨床病態学Ⅰ	2前	2		必修7 1単位＋ 選択2 単位以上	○			
	臨床病態学Ⅱ	2後	2			○			
形態検査学	血液検査学Ⅰ	2前	2			○			
	血液検査学Ⅱ	2後	2			○			
	血液検査学実習	3前	1			○			○
	病理検査学	3前	2			○			
	病理検査学実習	3前	1			○			○
	一般検査学	2前	1			○			
生物化学分析検査学	臨床化学検査学Ⅰ	2前	2			○			
	臨床化学検査学Ⅱ	2後	2			○			
	臨床化学検査学実習	3前	1			○			○
	放射性同位元素検査学	2前	1			○			
	遺伝子検査学	2後	2			○			
	遺伝子検査学実習	3前	1			○			○
	バイオテクノロジー演習	3前	1			○			○
病因・生体防御検査学	微生物検査学Ⅰ	1後	2			○			
	微生物検査学Ⅱ	2前	2			○			
	微生物検査学実習	2後	1			○			○
	寄生虫検査学	3前	1			○			
	免疫検査学Ⅰ	2前	2			○			
	免疫検査学Ⅱ	2後	2		○				
	免疫検査学実習	3前	1		○			○	
	輸血・移植検査学	2後	2		○				
	輸血・移植検査学実習	3前	1		○			○	
生理機能検査学	生理機能検査学Ⅰ	1後	2		○				
	生理機能検査学Ⅱ	2前	2		○				
	生理機能検査学Ⅲ	2前	2		○				
	生理機能検査学実習	2後	1		○			○	
	画像検査学	2後	2		○				
	超音波検査学Ⅰ	3前	1		○				
	超音波検査学Ⅱ	3前	1		○				
検査総管理学	検査総合管理学	3前	2		○				
	医療情報科学	3後	2		○				

ディプロマポリシー  
(DP：学位授与方針)

【卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

●臨床検査学科の方針

臨床検査学科は、幅広い教養を身に付け、臨床検査学に関する高い専門知識や技術を有する卒業生を輩出することを目指します。臨床検査学科に4年以上在籍し、卒業要件単位数を取得したものに卒業が認定され、学士（臨床検査学）の学位が与えられます。これは臨床検査技師国家試験受験資格となります。生命の尊さを深く認識し、医療人として高い倫理感と強い責任感を有し、誠実に臨床検査を実践することができるよう下記の能力を身につけた学生に、学位（臨床検査学）を授与します。

●4つのディプロマ・ポリシー

①精度の高い専門的知識と専門技術

臨床検査技師の専門性および役割を理解し、チーム医療の一員としての自覚を有し、臨床検査の専門的知識・専門技術を活用することで、

②チーム医療で活躍するための幅広い知識と協調性・コミュニケーション能力

チーム医療を実践するために、臨床検査の専門知識のみならず他職種に関する幅広い知識を得ることができ、さらにチーム医療の実践に欠かせない協調性・コミュニケーション能力が向上します。

③豊かな人間力

他者への思いやりの心を持ち、人によりそう豊かな感性、その想いを医療の力に変えることができる人間力、さらには生命と真摯に向き合う

④主体的問題解決能力

わからないこと・問題点を的確に把握し、それに対する探究心を持って積極的に情報収集や分析ができ、自ら解決することができるようになります。

区 分	授業科目	配 当 年 次	単位数		履修方法 及び 卒業要件	D P ①	D P ②	D P ③	D P ④	
			必修	選択						
学 科 専 門 科 目 群	合 関係法規	3後	1			○				
	管 理 学 医 療 安 全 医 療 安 全 管 理 学	2後	1			○				
	総 合 領 域	臨床薬理学	3前		2		○			
		食品衛生学	3後		1		○			
		食品関係法規	3後		1		○			
		総合演習Ⅰ	4通	2			○			
		総合演習Ⅱ	4通	2			○			
		総合演習Ⅲ	4通	2			○			
	研 究 卒 業	卒業研究Ⅰ	3通	2			○			○
		卒業研究Ⅱ	4通	2			○			○
	実 習 臨 地	臨床実習	3後	7			○			○
	卒業要件単位数					125				

ディプロマポリシー  
(DP：学位授与方針)

【卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

●鍼灸学科の方針  
鍼灸学科では鍼灸コースとスポーツ特修コースのいずれかに所属することとなります。鍼灸コース・スポーツ特修コースともに4年以上在籍し、卒業要件単位数を取得した者に卒業が認定され、学士（鍼灸学）の学位が与えられます。これは、はり師、きゅう師国家試験受験資格となります。専門職医療人として、高い人間性と知識・技術を駆使できるよう、下記の能力を身につけた人材に学位を授与します。

スポーツ特修コースは2年次より選択することとなります。スポーツ特修コースに在籍し、コース卒業要件単位数を取得した者に対しては、スポーツ特修コース修了証が与えられます。加えて、許可を受けたものは3年次より教職課程を履修し、所定の単位（中学校・高校）

●4つのディプロマ・ポリシー

①精度の高い専門的知識と専門技術  
地域医療やスポーツ、健康領域において、他分野の専門職とチームを構成し、はり師、きゅう師の専門知識と専門技術を活用することが出来ます。

またスポーツ特修コースでは、スポーツや科学的トレーニングに関する高い専門知識や指導技術を身につけ、スポーツ指導の現場や教職

②チーム医療で活躍するための幅広い知識と協調性・コミュニケーション能力  
地域医療やスポーツ、健康、教育領域の他職種に関する幅広い知識と理解を得ることにより、他職種との協調や連携、コミュニケーションといった能力を駆使してチームとしての医療活動が可能となります。

③豊かな人間力  
他者への思いやりの心を持ち、人によりそう豊かな感性、その思いを医療の力にかえることのできる人間力、さらには生命と真摯に向き合う高い倫理観を育むことができます。

④主体的問題解決能力  
はり師、きゅう師として、医療を必要とする者や家族の悩みや希望を受け止め、思いに答えるための知識や技術の向上に主体的かつ探求的に取り組み、問題を解決できるようになります。

スポーツ特修コースでは、医療資格に加えスポーツ指導や教育に関する資格を持つ者として、関係者の様々な思いや地域社会のニーズを理解し、主体的に解決できるようになります。

区分	授業科目	配当年次	単位数		履修方法及び卒業要件	D P ①	D P ②	D P ③	D P ④
			必修	選択					
教養科目群	科学的思考	基礎ゼミナール	1前	2			○	○	○
		生物学	1前		2			○	
		物理学	1後		2			○	
		情報処理	1後	2				○	
	人間理解と社会	心理学	1前		2			○	
		生命倫理学	1前	2				○	
		哲学・宗教学	1後		2			○	
		社会福祉学	1後		2			○	
		日本国憲法	1前	2				○	
	語学	統計学	2後		2			○	
		英語Ⅰ（初級）	1前	2			○		
		英語Ⅱ（中級）	1後	2			○		
		医学英語Ⅰ	2前		2		○		
		医学英語Ⅱ	2後		2		○		
		英会話Ⅰ	2前		2		○		
学部共通科目群	英会話Ⅱ	2後		2		○			
	保健医療	スポーツ健康科学演習	1後	2				○	
		健康科学（スポーツ社会学を含む）	1前		2			○	
		東洋思想史	1前		2			○	
		チーム医療とコミュニケーション	2前	2			○	○	
		生化学	2前		2			○	
		健康管理学Ⅰ	2前		2			○	
		健康管理学Ⅱ	2後		2			○	
		栄養学	2後		2			○	
		身体運動科学	2前		2			○	
		漢方医学概論	2後	2				○	○
統合医療概論		3前	2				○	○	

ディプロマポリシー  
(DP：学位授与方針)

【卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

●鍼灸学科の方針  
鍼灸学科では鍼灸コースとスポーツ特修コースのいずれかに所属することとなります。鍼灸コース・スポーツ特修コースともに4年以上在籍し、卒業要件単位数を取得した者に卒業が認定され、学士（鍼灸学）の学位が与えられます。これは、はり師、きゅう師国家試験受験資格となります。専門職医療人として、高い人間性と知識・技術を駆使できるよう、下記の能力を身につけた人材に学位を授与します。

スポーツ特修コースは2年次より選択することとなります。スポーツ特修コースに在籍し、コース卒業要件単位数を取得した者に対しては、スポーツ特修コース修了証が与えられます。加えて、許可を受けたものは3年次より教職課程を履修し、所定の単位（中学校・高校）

●4つのディプロマ・ポリシー

①精度の高い専門的知識と専門技術  
地域医療やスポーツ、健康領域において、他分野の専門職とチームを構成し、はり師、きゅう師の専門知識と専門技術を活用することが出来ます。

またスポーツ特修コースでは、スポーツや科学的トレーニングに関する高い専門知識や指導技術を身につけ、スポーツ指導の現場や教職

②チーム医療で活躍するための幅広い知識と協調性・コミュニケーション能力  
地域医療やスポーツ、健康、教育領域の他職種に関する幅広い知識と理解を得ることにより、他職種との協調や連携、コミュニケーションといった能力を駆使してチームとしての医療活動が可能となります。

③豊かな人間力  
他者への思いやりの心を持ち、人によりそう豊かな感性、その想いを医療の力にかえることのできる人間力、さらには生命と真摯に向き合う高い倫理観を育むことができます。

④主体的問題解決能力  
はり師、きゅう師として、医療を必要とする者や家族の悩みや希望を受け止め、思いに答えるための知識や技術の向上に主体的かつ探求的に取り組み、問題を解決できるようになります。

スポーツ特修コースでは、医療資格に加えスポーツ指導や教育に関する資格を持つ者として、関係者の様々な思いや地域社会のニーズを理解し、主体的に解決できるようになります。

区 分	授業科目	配 当 年 次	単位数		履修方法 及び 卒業要件	D P ①	D P ②	D P ③	D P ④	
			必修	選択						
学 科 専 門 科 目 群	人 体 の 構 造 と 機 能	解剖学Ⅰ（骨・筋）	1通	4			○	○		
		解剖学Ⅱ（神経）	1前	2			○	○		
		解剖学Ⅲ（内臓・脈管）	1後	2			○	○		
		生理学Ⅰ（動物生理学）	1前	2			○	○		
		生理学Ⅱ（植物生理学）	1後	2			○	○		
		生理学Ⅲ（応用生理学）	1後	2			○	○		
		人体形態機能学演習	2後	2			○	○		
		運動学	2前	2			○	○		
		疾 病 の 成 り 立 ち 、 そ の 予 防 及 び 回 復 の 促 進	病理学	2前	2				○	
			病理学演習	2後	2				○	
	整形外科学		2前	2				○		
	内科学Ⅰ		2前	2				○		
	内科学Ⅱ		2後	2				○		
	臨床医学各論Ⅰ（脳神経外科・心療内科）		2前	2				○		
	臨床医学各論Ⅱ（各科）		3後	2				○		
	臨床医学各論Ⅲ（各科）		3後	2				○		
	臨床医学各論Ⅳ（外科・麻酔科）		3後	2				○		
	スポーツ医学		3前	2			○	○	○	
	は り 及 び き ょ う の 理 念	リハビリテーション医学	3後	2			○	○		
		画像診断学	3前	2				○	○	
	衛生学公衆衛生学	2前	2				○			

ディプロマポリシー  
(DP：学位授与方針)

【卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

●鍼灸学科の方針  
鍼灸学科では鍼灸コースとスポーツ特修コースのいずれかに所属することとなります。鍼灸コース・スポーツ特修コースともに4年以上在籍し、卒業要件単位数を取得した者に卒業が認定され、学士（鍼灸学）の学位が与えられます。これは、はり師、きゅう師国家試験受験資格となります。専門職医療人として、高い人間性と知識・技術を駆使できるよう、下記の能力を身につけた人材に学位を授与します。

スポーツ特修コースは2年次より選択することとなります。スポーツ特修コースに在籍し、コース卒業要件単位数を取得した者に対しては、スポーツ特修コース修了証が与えられます。加えて、許可を受けたものは3年次より教職課程を履修し、所定の単位（中学校・高校）

●4つのディプロマ・ポリシー

①精度の高い専門的知識と専門技術  
地域医療やスポーツ、健康領域において、他分野の専門職とチームを構成し、はり師、きゅう師の専門知識と専門技術を活用することが出来ます。

またスポーツ特修コースでは、スポーツや科学的トレーニングに関する高い専門知識や指導技術を身につけ、スポーツ指導の現場や教職

②チーム医療で活躍するための幅広い知識と協調性・コミュニケーション能力  
地域医療やスポーツ、健康、教育領域の他職種に関する幅広い知識と理解を得ることにより、他職種との協調や連携、コミュニケーションといった能力を駆使してチームとしての医療活動が可能となります。

③豊かな人間力  
他者への思いやりの心を持ち、人によりそう豊かな感性、その想いを医療の力にかえることのできる人間力、さらには生命と真摯に向き合う高い倫理観を育むことができます。

④主体的問題解決能力  
はり師、きゅう師として、医療を必要とする者や家族の悩みや希望を受け止め、思いに答えるための知識や技術の向上に主体的かつ探求的に取り組み、問題を解決できるようになります。

スポーツ特修コースでは、医療資格に加えスポーツ指導や教育に関する資格を持つ者として、関係者の様々な思いや地域社会のニーズを理解し、主体的に解決できるようになります。

区分	授業科目	配当年次	単位数		履修方法及び卒業要件	D P ①	D P ②	D P ③	D P ④
			必修	選択					
学科専門科目群	基礎はりきゅう学	経絡経穴Ⅰ	1前	1			○		
		経絡経穴Ⅱ	1後	1			○		
		経穴局所解剖演習Ⅰ	1後	1			○		
		経穴局所解剖演習Ⅱ	2前	1			○		
		鍼灸科学概論	2前	1			○		
		東洋医学概論Ⅰ	1前	1			○		
		東洋医学概論Ⅱ	1後	1			○		
		鍼灸安全学	3前	1			○		
	臨床はりきゅう学	臨床鍼灸学	2後	1			○		
		運動機能検査法	2前	2			○		
		現代医学系鍼灸学Ⅰ（整形外科系）	2通	2			○		
		現代医学系鍼灸学Ⅱ（内科系）	3前	1			○		
		東洋医学系検査法	2前	2			○		
		東洋医学各論Ⅰ	2前	1			○		
		東洋医学各論Ⅱ	2後	1			○		
		関係法規・経営論	4前	2			○		
はりきゅう	マーケティング入門	4前		2		○			

ディプロマポリシー  
(DP：学位授与方針)

【卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

●鍼灸学科の方針  
鍼灸学科では鍼灸コースとスポーツ特修コースのいずれかに所属することとなります。鍼灸コース・スポーツ特修コースともに4年以上在籍し、卒業要件単位数を取得した者に卒業が認定され、学士（鍼灸学）の学位が与えられます。これは、はり師、きゅう師国家試験受験資格となります。専門職医療人として、高い人間性と知識・技術を駆使できるよう、下記の能力を身につけた人材に学位を授与します。

スポーツ特修コースは2年次より選択することとなります。スポーツ特修コースに在籍し、コース卒業要件単位数を取得した者に対しては、スポーツ特修コース修了証が与えられます。加えて、許可を受けたものは3年次より教職課程を履修し、所定の単位（中学校・高校）

●4つのディプロマ・ポリシー

①精度の高い専門的知識と専門技術  
地域医療やスポーツ、健康領域において、他分野の専門職とチームを構成し、はり師、きゅう師の専門知識と専門技術を活用することが出来ます。

またスポーツ特修コースでは、スポーツや科学的トレーニングに関する高い専門知識や指導技術を身につけ、スポーツ指導の現場や教職

②チーム医療で活躍するための幅広い知識と協調性・コミュニケーション能力  
地域医療やスポーツ、健康、教育領域の他職種に関する幅広い知識と理解を得ることにより、他職種との協調や連携、コミュニケーションといった能力を駆使してチームとしての医療活動が可能となります。

③豊かな人間力  
他者への思いやりの心を持ち、人によりそう豊かな感性、その想いを医療の力にかえることのできる人間力、さらには生命と真摯に向き合う高い倫理観を育むことができます。

④主体的問題解決能力  
はり師、きゅう師として、医療を必要とする者や家族の悩みや希望を受け止め、思いに答えるための知識や技術の向上に主体的かつ探求的に取り組み、問題を解決できるようになります。

スポーツ特修コースでは、医療資格に加えスポーツ指導や教育に関する資格を持つ者として、関係者の様々な思いや地域社会のニーズを理解し、主体的に解決できるようになります。

区 分	授業科目	配 当 年 次	単位数		履修方法 及び 卒業要件	D P ①	D P ②	D P ③	D P ④
			必修	選択					
学 科 専 門 科 目 群  実 習	基礎鍼灸技Ⅰ	1前	1		必 修 5 2 単 位 + 選 択 4 単 位 以 上	○			
	基礎鍼灸技Ⅱ	1後	1			○			
	基礎灸灸技Ⅰ	1前	1			○			
	基礎灸灸技Ⅱ	1後	1			○			
	現代医学系鍼灸学実習Ⅰ	2前	1			○			○
	現代医学系鍼灸学実習Ⅱ	2後	1			○			○
	現代医学系鍼灸応用実習	3後		1		○			○
	東洋医学系鍼灸実習Ⅰ	2後	1			○			○
	東洋医学系鍼灸実習Ⅱ	3前	1			○			○
	東洋医学系鍼灸応用実習	3前		1		○			○
	附属施術所見学実習	2後	1			○			○
	附属施術所基礎実習	3通	2			○			○
	附属施術所応用実習	4通	2			○			○
	学外見学実習Ⅰ	2通	1			○			○
	学外見学実習Ⅱ	4集	1			○			○
	臨床灸実習	3前	1			○			○
	特殊鍼灸治療学（刺絡・通電等）	3後		1		○			
	応用鍼灸治療学Ⅰ（スポーツ総論）	3前		1		○			
	応用鍼灸治療学Ⅱ（スポーツ各論）	3後		1		○			
	応用鍼灸治療学Ⅲ（小児・婦人科）	4前		1		○			
	応用鍼灸治療学Ⅳ（外科・麻酔科・泌尿器科・耳鼻科・眼科）	4後		1		○			
	応用鍼灸治療学Ⅴ（内科）	3後		1		○			
	応用鍼灸治療学Ⅵ（リハビリ・老年）	4前		1		○			
応用鍼灸治療学Ⅶ（物理療法）	4前		1	○					
応用鍼灸治療学Ⅷ（美容・未病）	3後		1	○					

ディプロマポリシー  
(DP：学位授与方針)

【卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

●鍼灸学科の方針  
鍼灸学科では鍼灸コースとスポーツ特修コースのいずれかに所属することとなります。鍼灸コース・スポーツ特修コースともに4年以上在籍し、卒業要件単位数を取得した者に卒業が認定され、学士（鍼灸学）の学位が与えられます。これは、はり師、きゅう師国家試験受験資格となります。専門職医療人として、高い人間性と知識・技術を駆使できるよう、下記の能力を身につけた人材に学位を授与します。

スポーツ特修コースは2年次より選択することとなります。スポーツ特修コースに在籍し、コース卒業要件単位数を取得した者に対しては、スポーツ特修コース修了証が与えられます。加えて、許可を受けたものは3年次より教職課程を履修し、所定の単位（中学校・高校）

●4つのディプロマ・ポリシー

①精度の高い専門的知識と専門技術  
地域医療やスポーツ、健康領域において、他分野の専門職とチームを構成し、はり師、きゅう師の専門知識と専門技術を活用することが出来ます。

またスポーツ特修コースでは、スポーツや科学的トレーニングに関する高い専門知識や指導技術を身につけ、スポーツ指導の現場や教職

②チーム医療で活躍するための幅広い知識と協調性・コミュニケーション能力  
地域医療やスポーツ、健康、教育領域の他職種に関する幅広い知識と理解を得ることにより、他職種との協調や連携、コミュニケーションといった能力を駆使してチームとしての医療活動が可能となります。

③豊かな人間力  
他者への思いやりの心を持ち、人によりそう豊かな感性、その想いを医療の力にかえることのできる人間力、さらには生命と真摯に向き合う高い倫理観を育むことができます。

④主体的問題解決能力  
はり師、きゅう師として、医療を必要とする者や家族の悩みや希望を受け止め、思いに答えるための知識や技術の向上に主体的かつ探求的に取り組み、問題を解決できるようになります。

スポーツ特修コースでは、医療資格に加えスポーツ指導や教育に関する資格を持つ者として、関係者の様々な思いや地域社会のニーズを理解し、主体的に解決できるようになります。

区 分	授業科目	配 当 年 次	単位数		履修方法 及び 卒業要件	D P ①	D P ②	D P ③	D P ④
			必修	選択					
学 科 専 門 科 目 群	総 合 領 域	介護学概論	3前		1		○		
		ケアマネジメント	3後		1		○		
		老年ケア演習	3集		1		○		○
		漢方医学各論	3前		1			○	
		キャリアデザイン	1前	1				○	
		鍼灸のための理学療法学・看護学	3前	1			○	○	○
		鍼灸総合演習Ⅰ	4前	4			○		
		鍼灸総合演習Ⅱ	4通	4			○		
		鍼灸総合演習Ⅲ	4後	4			○		
		保健医療研究	3集	2			○		○
		卒業研究	4集		2		○		○
		スポーツ実習Ⅰ 体づくり運動	1前		1		○		
		スポーツ傷害学・栄養学	4前		2		○		
		運動生理機能学演習	3後		2		○		
		トレーニング科学演習Ⅰ（レジスタンスエクササイズ1）	1後		1		○		
		トレーニング科学演習Ⅱ（エアロビックダンス・ウォーキング・ジョギング）	1後		1		○		
		トレーニング科学演習Ⅲ（レジスタンスエクササイズ2・水中運動）	2集		1		○		
		トレーニング科学演習Ⅳ（指導実習）	3後		1		○		
		スポーツ実習Ⅴ（ダンス）	1前		1		○		
		スポーツ実習Ⅶ（水泳）	2集		1		○		
卒業要件単位数					124				

ディプロマポリシー  
(DP：学位授与方針)

【卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

●鍼灸学科の方針  
鍼灸学科では鍼灸コースとスポーツ特修コースのいずれかに所属することとなります。鍼灸コース・スポーツ特修コースともに4年以上在籍し、卒業要件単位数を取得した者に卒業が認定され、学士（鍼灸学）の学位が与えられます。これは、はり師、きゅう師国家試験受験資格となります。専門職医療人として、高い人間性と知識・技術を駆使できるよう、下記の能力を身につけた人材に学位を授与します。

スポーツ特修コースは2年次より選択することとなります。スポーツ特修コースに在籍し、コース卒業要件単位数を取得した者に対しては、スポーツ特修コース修了証が与えられます。加えて、許可を受けたものは3年次より教職課程を履修し、所定の単位（中学校・高校）

●4つのディプロマ・ポリシー

①精度の高い専門的知識と専門技術  
地域医療やスポーツ、健康領域において、他分野の専門職とチームを構成し、はり師、きゅう師の専門知識と専門技術を活用することが出来ます。

またスポーツ特修コースでは、スポーツや科学的トレーニングに関する高い専門知識や指導技術を身につけ、スポーツ指導の現場や教職

②チーム医療で活躍するための幅広い知識と協調性・コミュニケーション能力  
地域医療やスポーツ、健康、教育領域の他職種に関する幅広い知識と理解を得ることにより、他職種との協調や連携、コミュニケーションといった能力を駆使してチームとしての医療活動が可能となります。

③豊かな人間力  
他者への思いやりの心を持ち、人によりそう豊かな感性、その思いを医療の力にかえることのできる人間力、さらには生命と真摯に向き合う高い倫理観を育むことができます。

④主体的問題解決能力  
はり師、きゅう師として、医療を必要とする者や家族の悩みや希望を受け止め、思いに答えるための知識や技術の向上に主体的かつ探求的に取り組み、問題を解決できるようになります。

スポーツ特修コースでは、医療資格に加えスポーツ指導や教育に関する資格を持つ者として、関係者の様々な思いや地域社会のニーズを理解し、主体的に解決できるようになります。

区分	授業科目	配当年次	単位数		履修方法及び卒業要件	D P ①	D P ②	D P ③	D P ④
			必修	選択					
教養科目群	基礎ゼミナール	1前	2		必修 16 単位 + 選択 2 単位 以上		○	○	○
	生物学	1前		2				○	
	物理学	1後		2				○	
	情報処理	1後	2					○	
	心理学	1前		2				○	
	生命倫理学	1前	2					○	
	哲学・宗教学	1後		2				○	
	社会福祉学	1後		2				○	
	日本国憲法	1前	2					○	
	統計学	2後	2					○	
	英語Ⅰ（初級）	1前	2					○	
	英語Ⅱ（中級）	1後	2					○	
	医学英語Ⅰ	2前		2				○	
	医学英語Ⅱ	2後		2				○	
英会話Ⅰ	2前	2				○			
英会話Ⅱ	2後		2			○			
学部共通科目群	スポーツ健康科学演習	1後	2		必修 4 単位 + 選択 2 単位 以上			○	
	健康科学（スポーツ社会学を含む）	1前		2				○	
	東洋思想史	1前		2				○	
	チーム医療とコミュニケーション	2前	2				○	○	
	生化学	2前		2				○	
	健康管理学Ⅰ	2前		2				○	
	健康管理学Ⅱ	2後		2				○	
	栄養学	2後		2				○	
	身体運動科学	2前		2				○	
	漢方医学概論	2後		2				○	
統合医療概論	3前		2			○			

ディプロマポリシー  
(DP:学位授与方針)

【卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

●鍼灸学科の方針  
鍼灸学科では鍼灸コースとスポーツ特修コースのいずれかに所属することとなります。鍼灸コース・スポーツ特修コースともに4年以上在籍し、卒業要件単位数を取得した者に卒業が認定され、学士（鍼灸学）の学位が与えられます。これは、はり師、きゅう師国家試験受験資格となります。専門職医療人として、高い人間性と知識・技術を駆使できるよう、下記の能力を身につけた人材に学位を授与します。

スポーツ特修コースは2年次より選択することとなります。スポーツ特修コースに在籍し、コース卒業要件単位数を取得した者に対しては、スポーツ特修コース修了証が与えられます。加えて、許可を受けたものは3年次より教職課程を履修し、所定の単位（中学校・高校）

●4つのディプロマ・ポリシー

①精度の高い専門的知識と専門技術  
地域医療やスポーツ、健康領域において、他分野の専門職とチームを構成し、はり師、きゅう師の専門知識と専門技術を活用することが出来ます。

またスポーツ特修コースでは、スポーツや科学的トレーニングに関する高い専門知識や指導技術を身につけ、スポーツ指導の現場や教職

②チーム医療で活躍するための幅広い知識と協調性・コミュニケーション能力  
地域医療やスポーツ、健康、教育領域の他職種に関する幅広い知識と理解を得ることにより、他職種との協調や連携、コミュニケーションといった能力を駆使してチームとしての医療活動が可能となります。

③豊かな人間力  
他者への思いやりの心を持ち、人によりそう豊かな感性、その思いを医療の力にかえることのできる人間力、さらには生命と真摯に向き合う高い倫理観を育むことができます。

④主体的問題解決能力  
はり師、きゅう師として、医療を必要とする者や家族の悩みや希望を受け止め、思いに答えるための知識や技術の向上に主体的かつ探求的に取り組み、問題を解決できるようになります。

スポーツ特修コースでは、医療資格に加えスポーツ指導や教育に関する資格を持つ者として、関係者の様々な思いや地域社会のニーズを理解し、主体的に解決できるようになります。

区分	授業科目	配当年次	単位数		履修方法及び卒業要件	D P ①	D P ②	D P ③	D P ④
			必修	選択					
学 科 専 門 基 礎 科 目  回 復 の 促 進 の 予 防 及 び 理	解剖学Ⅰ（骨・筋）	1通	4		必 修 4 4 単 位			○	
	解剖学Ⅱ（神経）	1前	2					○	
	解剖学Ⅲ（内臓・脈管）	1後	2					○	
	生理学Ⅰ（動物生理学）	1前	2					○	
	生理学Ⅱ（植物生理学）	1後	2					○	
	生理学Ⅲ（応用生理学）	1後	2					○	
	人体形態機能学演習	2後	2					○	
	運動学	2前	2					○	
	病理学	2前	2					○	
	病理学演習	2後	2					○	
	整形外科学	2前	2					○	
	内科学Ⅰ	2前	2					○	
	内科学Ⅱ	2後	2					○	
	臨床医学各論Ⅰ（脳神経外科・心療内科）	2前	2					○	
	臨床医学各論Ⅱ（各科）	3後	2					○	
	臨床医学各論Ⅲ（各科）	3後	2					○	
	臨床医学各論Ⅳ（外科・麻酔科）	3後	2					○	
	スポーツ医学	3前	2				○	○	
	リハビリテーション医学	3後	2				○	○	
	画像診断学	3前	2					○	○
はり師及びきゅう師の理 衛生学公衆衛生学	2前	2					○		

ディプロマポリシー  
(DP：学位授与方針)

【卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

●鍼灸学科の方針  
鍼灸学科では鍼灸コースとスポーツ特修コースのいずれかに所属することとなります。鍼灸コース・スポーツ特修コースともに4年以上在籍し、卒業要件単位数を取得した者に卒業が認定され、学士（鍼灸学）の学位が与えられます。これは、はり師、きゅう師国家試験受験資格となります。専門職医療人として、高い人間性と知識・技術を駆使できるよう、下記の能力を身につけた人材に学位を授与します。

スポーツ特修コースは2年次より選択することとなります。スポーツ特修コースに在籍し、コース卒業要件単位数を取得した者に対しては、スポーツ特修コース修了証が与えられます。加えて、許可を受けたものは3年次より教職課程を履修し、所定の単位（中学校・高校）

●4つのディプロマ・ポリシー

①精度の高い専門的知識と専門技術  
地域医療やスポーツ、健康領域において、他分野の専門職とチームを構成し、はり師、きゅう師の専門知識と専門技術を活用することが出来ます。

またスポーツ特修コースでは、スポーツや科学的トレーニングに関する高い専門知識や指導技術を身につけ、スポーツ指導の現場や教職

②チーム医療で活躍するための幅広い知識と協調性・コミュニケーション能力  
地域医療やスポーツ、健康、教育領域の他職種に関する幅広い知識と理解を得ることにより、他職種との協調や連携、コミュニケーションといった能力を駆使してチームとしての医療活動が可能となります。

③豊かな人間力  
他者への思いやりの心を持ち、人によりそう豊かな感性、その思いを医療力にかえることのできる人間力、さらには生命と真摯に向き合う高い倫理観を育むことができます。

④主体的問題解決能力  
はり師、きゅう師として、医療を必要とする者や家族の悩みや希望を受け止め、思いに答えるための知識や技術の向上に主体的かつ探求的に取り組み、問題を解決できるようになります。

スポーツ特修コースでは、医療資格に加えスポーツ指導や教育に関する資格を持つ者として、関係者の様々な思いや地域社会のニーズを理解し、主体的に解決できるようになります。

区分	授業科目	配当年次	単位数		履修方法及び卒業要件	D P ①	D P ②	D P ③	D P ④	
			必修	選択						
学科専門科目群	基礎はりきゅう学	経絡経穴Ⅰ	1前	1						
		経絡経穴Ⅱ	1後	1						
		経穴局所解剖演習Ⅰ	1後	1						
		経穴局所解剖演習Ⅱ	2前	1						
		鍼灸科学概論	2前	1						
		東洋医学概論Ⅰ	1前	1						
	臨床はりきゅう学	東洋医学概論Ⅱ	1後	1						
		鍼灸安全学	3前	1						
		臨床鍼灸学	2後	1						
		運動機能検査法	2前	2						
		現代医学系鍼灸学Ⅰ（整形外科系）	2通	2						
		現代医学系鍼灸学Ⅱ（内科系）	3前	1						
		東洋医学系検査法	2前	2						
		東洋医学各論Ⅰ	2前	1						
		東洋医学各論Ⅱ	2後	1						
		はりきゅう社会	関係法規・経営論	4前	2					
			マーケティング入門	4前		2				

ディプロマポリシー  
(DP: 学位授与方針)

【卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

●鍼灸学科の方針  
鍼灸学科では鍼灸コースとスポーツ特修コースのいずれかに所属することとなります。鍼灸コース・スポーツ特修コースともに4年以上在籍し、卒業要件単位数を取得した者に卒業が認定され、学士（鍼灸学）の学位が与えられます。これは、はり師、きゅう師国家試験受験資格となります。専門職医療人として、高い人間性と知識・技術を駆使できるよう、下記の能力を身につけた人材に学位を授与します。

スポーツ特修コースは2年次より選択することとなります。スポーツ特修コースに在籍し、コース卒業要件単位数を取得した者に対しては、スポーツ特修コース修了証が与えられます。加えて、許可を受けたものは3年次より教職課程を履修し、所定の単位（中学校・高校）

●4つのディプロマ・ポリシー

①精度の高い専門的知識と専門技術  
地域医療やスポーツ、健康領域において、他分野の専門職とチームを構成し、はり師、きゅう師の専門知識と専門技術を活用することが出来ます。

またスポーツ特修コースでは、スポーツや科学的トレーニングに関する高い専門知識や指導技術を身につけ、スポーツ指導の現場や教職

②チーム医療で活躍するための幅広い知識と協調性・コミュニケーション能力  
地域医療やスポーツ、健康、教育領域の他職種に関する幅広い知識と理解を得ることにより、他職種との協調や連携、コミュニケーションといった能力を駆使してチームとしての医療活動が可能となります。

③豊かな人間力  
他者への思いやりの心を持ち、人によりそう豊かな感性、その思いを医療の力にかえることのできる人間力、さらには生命と真摯に向き合う高い倫理観を育むことができます。

④主体的問題解決能力  
はり師、きゅう師として、医療を必要とする者や家族の悩みや希望を受け止め、思いに答えるための知識や技術の向上に主体的かつ探求的に取り組み、問題を解決できるようになります。

スポーツ特修コースでは、医療資格に加えスポーツ指導や教育に関する資格を持つ者として、関係者の様々な思いや地域社会のニーズを理解し、主体的に解決できるようになります。

区分	授業科目	配当年次	単位数		履修方法及び卒業要件	D P ①	D P ②	D P ③	D P ④
			必修	選択					
学科 専門科目 実習	基礎鍼灸技Ⅰ	1前	1		必修 6 1 単位 + 選択 3 単位 以上 ( 専門 科目 目 体 育 区 分 除 く )	○			
	基礎鍼灸技Ⅱ	1後	1			○			
	基礎灸実技Ⅰ	1前	1			○			
	基礎灸実技Ⅱ	1後	1			○			
	現代医学系鍼灸学実習Ⅰ	2前	1			○			○
	現代医学系鍼灸学実習Ⅱ	2後	1			○			○
	現代医学系鍼灸学実習Ⅲ	3後		1		○			○
	東洋医学系鍼灸学実習Ⅰ	2後	1			○			○
	東洋医学系鍼灸学実習Ⅱ	3前	1			○			○
	東洋医学系鍼灸学実習Ⅲ	3前		1		○			○
	附属施設所見学実習	2後	1			○			○
	附属施設所基礎実習	3通	2			○			○
	附属施設所応用実習	4通	2			○			○
	学外見学実習Ⅰ	2通	1			○			○
	学外見学実習Ⅱ	4集	1			○			○
	臨床灸実習	3前		1		○			○
	特殊鍼灸治療学（刺絡・通電等）	3後		1		○			
	応用鍼灸治療学Ⅰ（スポーツ総論）	3前		1		○			
	応用鍼灸治療学Ⅱ（スポーツ各論）	3後		1		○			
	応用鍼灸治療学Ⅲ（小児・婦人科）	4前		1		○			
	応用鍼灸治療学Ⅳ（外科・麻酔科・泌尿器科・耳鼻科・眼科）	4後		1		○			
	応用鍼灸治療学Ⅴ（内科）	3後		1		○			
	応用鍼灸治療学Ⅵ（リハビリ・老年）	4前		1		○			
応用鍼灸治療学Ⅶ（物理療法）	4前		1	○					
応用鍼灸治療学Ⅷ（美容・未病）	3後		1	○					

ディプロマポリシー  
(DP：学位授与方針)

【卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

●鍼灸学科の方針  
鍼灸学科では鍼灸コースとスポーツ特修コースのいずれかに所属することとなります。鍼灸コース・スポーツ特修コースともに4年以上在籍し、卒業要件単位数を取得した者に卒業が認定され、学生（鍼灸学）の学位が与えられます。これは、はり師、きゅう師国家試験受験資格となります。専門職医療人として、高い人間性と知識・技術を駆使できるよう、下記の能力を身につけた人材に学位を授与します。

スポーツ特修コースは2年次より選択することとなります。スポーツ特修コースに在籍し、コース卒業要件単位数を取得した者に対しては、スポーツ特修コース修了証が与えられます。加えて、許可を受けたものは3年次より教職課程を履修し、所定の単位（中学校・高校）

●4つのディプロマ・ポリシー

①精度の高い専門的知識と専門技術  
地域医療やスポーツ、健康領域において、他分野の専門職とチームを構成し、はり師、きゅう師の専門知識と専門技術を活用することが出来ます。

またスポーツ特修コースでは、スポーツや科学的トレーニングに関する高い専門知識や指導技術を身につけ、スポーツ指導の現場や教職

②チーム医療で活躍するための幅広い知識と協調性・コミュニケーション能力  
地域医療やスポーツ、健康、教育領域の他職種に関する幅広い知識と理解を得ることにより、他職種との協調や連携、コミュニケーションといった能力を駆使してチームとしての医療活動が可能となります。

③豊かな人間力  
他者への思いやりの心を持ち、人によりそう豊かな感性、その思いを医療力にかえることのできる人間力、さらには生命と真摯に向き合う高い倫理観を育むことができます。

④主体的問題解決能力  
はり師、きゅう師として、医療を必要とする者や家族の悩みや希望を受け止め、思いに答えるための知識や技術の向上に主体的かつ探求的に取り組み、問題を解決できるようになります。

スポーツ特修コースでは、医療資格に加えスポーツ指導や教育に関する資格を持つ者として、関係者の様々な思いや地域社会のニーズを理解し、主体的に解決できるようになります。

区分	授業科目	配当年次	単位数		履修方法及び卒業要件	D P ①	D P ②	D P ③	D P ④	
			必修	選択						
学科専門科目群	総合領域	介護学概論	3前	1	必修6 1単位+ 選択3 単位以上 (専門科目 体育区分 除く)	○	○			
		ケアマネジメント	3後	1		○	○			
		老年ケア演習	3集	1		○	○	○	○	
		漢方医学各論	3前	1			○			
		キャリアデザイン	1前	1			○	○		
		鍼灸のための理学療法・看護学	3前	1			○	○	○	○
		鍼灸総合演習Ⅰ	4前	4			○			
		鍼灸総合演習Ⅱ	4通	4			○			
		鍼灸総合演習Ⅲ	4後	4			○			
		保健医療研究	3集	2			○			○
		卒業研究	4集	2			○			○
		学校保健(小児保健・精神保健)	3前	2			○			
		学校保健(学校安全・救急処置)	3後	2			○			
		スポーツ心理学 ※	3後	2			○			
		スポーツ実習Ⅰ(体づくり運動)	1前	1			○			
		スポーツ実習Ⅱ(生涯スポーツ)	2前	1			○			
		スポーツバイオメカニクス	2後	2			○			
		スポーツ傷害学・栄養学	4前	2			○			
		体力トレーニング論	4前	2			○			
		運動生理学	3前	2			○			
		運動生理機能学演習	3後	2			○			
		トレーニング科学演習Ⅰ(レジスタンスエクササイズ1)	1後	1			○		○	
		トレーニング科学演習Ⅱ(エアロビックダンス・ウォーキング・ジョギング)	1後	1			○		○	
トレーニング科学演習Ⅲ(レジスタンスエクササイズ2・水中運動)	2集	1		○		○				
トレーニング科学演習Ⅳ(指導実習)	3後	1		○		○				

ディプロマポリシー  
(DP：学位授与方針)

【卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

●鍼灸学科の方針  
鍼灸学科では鍼灸コースとスポーツ特修コースのいずれかに所属することとなります。鍼灸コース・スポーツ特修コースともに4年以上在籍し、卒業要件単位数を取得した者に卒業が認定され、学士（鍼灸学）の学位が与えられます。これは、はり師、きゅう師国家試験受験資格となります。専門職医療人として、高い人間性と知識・技術を駆使できるよう、下記の能力を身につけた人材に学位を授与します。

スポーツ特修コースは2年次より選択することとなります。スポーツ特修コースに在籍し、コース卒業要件単位数を取得した者に対しては、スポーツ特修コース修了証が与えられます。加えて、許可を受けたものは3年次より教職課程を履修し、所定の単位（中学校・高校）

●4つのディプロマ・ポリシー

①精度の高い専門的知識と専門技術  
地域医療やスポーツ、健康領域において、他分野の専門職とチームを構成し、はり師、きゅう師の専門知識と専門技術を活用することが出来ます。

またスポーツ特修コースでは、スポーツや科学的トレーニングに関する高い専門知識や指導技術を身につけ、スポーツ指導の現場や教職

②チーム医療で活躍するための幅広い知識と協調性・コミュニケーション能力  
地域医療やスポーツ、健康、教育領域の他職種に関する幅広い知識と理解を得ることにより、他職種との協調や連携、コミュニケーションといった能力を駆使してチームとしての医療活動が可能となります。

③豊かな人間力  
他者への思いやりの心を持ち、人によりそう豊かな感性、その思いを医療の力にかえることのできる人間力、さらには生命と真摯に向き合う高い倫理観を育むことができます。

④主体的問題解決能力  
はり師、きゅう師として、医療を必要とする者や家族の悩みや希望を受け止め、思いに答えるための知識や技術の向上に主体的かつ探求的に取り組み、問題を解決できるようになります。

スポーツ特修コースでは、医療資格に加えスポーツ指導や教育に関する資格を持つ者として、関係者の様々な思いや地域社会のニーズを理解し、主体的に解決できるようになります。

区 分	授業科目	配 当 年 次	単位数		履修方法 及び 卒業要件	D P ①	D P ②	D P ③	D P ④
			必修	選択					
学 科 専 門 科 目 群	スポーツ実習IIサッカー	3集	1		必 修 6 単 位	○		○	
	スポーツ実習III陸上競技	1後	1			○		○	
	スポーツ実習IV柔道	3前	1			○		○	
	スポーツ実習Vダンス	1前	1			○		○	
	スポーツ実習VI器械運動	2集	1			○		○	
	スポーツ実習VII水泳	2集	1			○		○	
	体育原理 ※	3前		2			○		○
※印 2科目の中から1科目2単位以上の選択必修					以 上 の 位 置 2 単 位				
卒業要件単位数					140				